

2026年4月1日

創域理工学研究科 経営システム工学専攻 科目系統図

分野共通（必修，1年次）◎

経営システム工学輪講 1A	経営システム工学輪講 1B
経営システム工学特別 研究1A	経営システム工学特別 研究1B
経営システム工学特別 演習A	経営システム工学特別 演習B

分野共通（必修，2年次）◎

経営システム工学特別 研究2A	経営システム工学特別 研究2B
--------------------	--------------------

→

分野共通（選択，1年次または2年次）

経営システム工学輪講2A	経営システム工学輪講2B
バリュー・システムイノベーション特論	サプライチェーンマネジメント特論

社会・情報システム工学（選択，1年次または2年次）

機械学習特論	ソフトウェア工学特論
情報ネットワーク応用特論	数理システム特論
ライフサイクルエンジニアリング特論	地域創生工学特論
グローバルエネルギー経済システム特論	

生産・管理システム工学（選択，1年次または2年次）

生産システムオペレーション特論	生産システムデザイン特論
統計的品質管理特論	原価管理特論
リアルオプション特論	リスクマネジメント特論
経営情報特論	統計工学特論
実験計画法特論	多変量解析特論

教養（選択必修，1年次または2年次）

知的財産特論	Presentation Skills	医療倫理	他
--------	---------------------	------	---

科目群で身につける能力

社会・情報システム工学：社会、工場や地球環境などの極めて複雑な仕組みをシステムと考え、より実用的な視点から、その構築要素間の関係を多数の数式や論理式で記述したモデルで表現し、対象システムの改善案を実験およびシミュレーション等で探求する能力、および企業活動や社会活動において、現状の情報システムにおける問題点を把握するとともに、解決するための方法論や改善するための新たな情報技術を創造する能力

生産・管理システム工学：情報、設備、人、資金といった経営資源をフルに活用し、原料の調達から製品の生産・販売までの迅速でスムーズな「モノの流れ」を総合的に実現する能力、および企業活動や社会活動を科学的に分析し、目的を効果的かつ能率的に達成するための活動を提案、評価、コントロールする能力

人材育成に関する目的

経営システム工学専攻は、理学・工学の知識と技術を企業や組織のマネジメントとしてその活動へ具現化する技術、高度情報化へ対応する情報工学、環境社会問題との融和を図るシステム工学について、最新動向を教授するとともに、さらなる発展のための研究を指導し、組織の効率的マネジメントを先導できる人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー

1. 修士課程においては、専攻分野における高い専門性と倫理観、社会に貢献する力、国際的視野を持った研究者又は高度専門職業人の養成を目標とし、所定の期間在学し、以下の知識・能力を身に付け、各専攻で定める所定の単位を修得し、かつ、修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに最終試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士（理学）又は修士（工学）の学位を授与する。

(1) 各研究科・専攻の専門分野に応じた高度な専門知識。

(2) 各研究科・専攻の専門分野に応じた研究能力。

(3) 各研究科・専攻において修得した高度な専門知識・研究能力と教養をもとに、論理的・批判的に思考し、自ら課題を発見・設定し、解決する能力。

(4) 各研究科・専攻において修得した高度な専門知識・研究能力と教養をもとに、国際的な視野を持って活躍できる能力。

2. 博士後期課程においては、創造性豊かな優れた研究・開発能力と倫理観、社会に貢献する力を持ち、あらゆる研究・教育機関の中核を担う研究者等の養成を目標とし、所定の期間在学し、以下の知識・能力を身に付け、各専攻で定める所定の単位を修得し、かつ、博士の学位論文の審査、試験、学力確認のための試問に合格した学生に対して修了を認定し、博士（理学）または博士（工学）の学位を授与する。

(1) 各研究科・専攻の専門分野に応じた極めて高度な専門知識。

(2) 各研究科・専攻の専門分野について研究者として自立して研究活動を行う能力。

(3) 各研究科・専攻において修得した極めて高度な専門知識や研究能力をもとに、柔軟な思考と深い洞察に基づいて、自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する能力。

(4) 各研究科・専攻において修得した極めて高度な専門知識や研究能力をもとに、専門性を要する分野において、国際的な視野を持って活躍できる能力。

カリキュラム・ポリシー（抜粋）

1. 修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」により、各専攻で定める目的を実現するための教育課程を編成すると共に、理学と工学を融合した教育研究体制を配置する。

2026年4月1日

2. (1) 「専門科目」では、より高度な専門的知識を身に付けるため、特論、実験、演習等の授業科目を重点的・効果的に配置する。
(2) 「一般教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を養う授業科目を配置する。
(3) 研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、研究者又は高度職業人として国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。
3. 博士後期課程においては、修士課程等で養った高度な専門的知識や研究開発能力を基礎として、さらに「研究指導」「一般教養科目」により各専攻で定める目的を実現するための教育課程を編成すると共に、理学と工学を融合した教育研究体制を配置する。
4. (1) 研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、専門分野に関して自立した研究者又は高度職業人として、国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。
(2) 「一般教養科目」では、自立した研究者又は高度職業人として研究開発を遂行していくために必要な深い学識と倫理観、汎用的能力を涵養する授業科目を配置する。

アドミッション・ポリシー

建学の精神と実力主義の伝統に基づく、本学の教育研究理念のもと、

- 修士課程においては、学士課程で修得した基礎学力と幅広い教養をもとに、専門分野で自ら課題を発見し解決する研究意欲のある人、研究者又は高度職業人に必要な能力の修得を目指す人、主体的に多様な人々と協働して研究を行う意欲のある人。
 - 博士後期課程においては、修士課程までに修得した専門知識と研究能力をもとに、自立して創造的研究を行う意欲のある人、薬学研究科薬学専攻博士課程においては、修業年限6年の学士課程等で修得した専門知識と技能、態度をもとに、自立して創造的研究を行う意欲のある人。
 - 専門知識や教養をもとに、社会において国際的な視野を持って活躍しようとする意欲のある人。
- を多様な選抜方法により広く求める。